

平成29年度胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

平成30年7月
北海道胆振総合振興局

【概要】

平成29年度の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は、1,082,169人泊（前年度比107.2%）と、平成28年度と比較して、72,662人泊の増加となり、発表を開始した平成10年以降で、過去最高を記録しました。

【国・地域別の状況】

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、台湾が325,169人泊で最も多く、訪日外国人宿泊者数（延べ数）の30.0%を占めています。次いで中国（260,243人泊）、韓国（251,750人泊）、香港（80,400人泊）、マレーシア（33,035人泊）となっています。

上位5か国まですべてアジア圏の国々となっており、その他シンガポール（32,112人泊）、タイ（25,341人泊）、インドネシア（5,998人泊）、フィリピン（4,163人泊）、ベトナム（906人泊）、インド（320人泊）を含めたアジア圏からの観光客が、訪日外国人宿泊者数（延べ数）全体のおよそ94.2%を占めています。

韓国（前年度比130.7%）は休日の日並びによる海外旅行需要の増加や格安航空会社の座席供給量の拡大を背景に増加し、中国（前年度比112.0%）は、ビザ発給要件緩和で、個人旅行・FITの需要が高まったことにより、順調な伸びを見せています。

一方で、管内では7年連続で宿泊者数が最も多くなっている台湾（前年度比99.3%）と近年北海道旅行人気が高まっているマレーシア（前年度比74.6%）については、大型宿泊施設の改装やFITの割合が高まったことなどにより、それぞれ減少したものと考えられます。

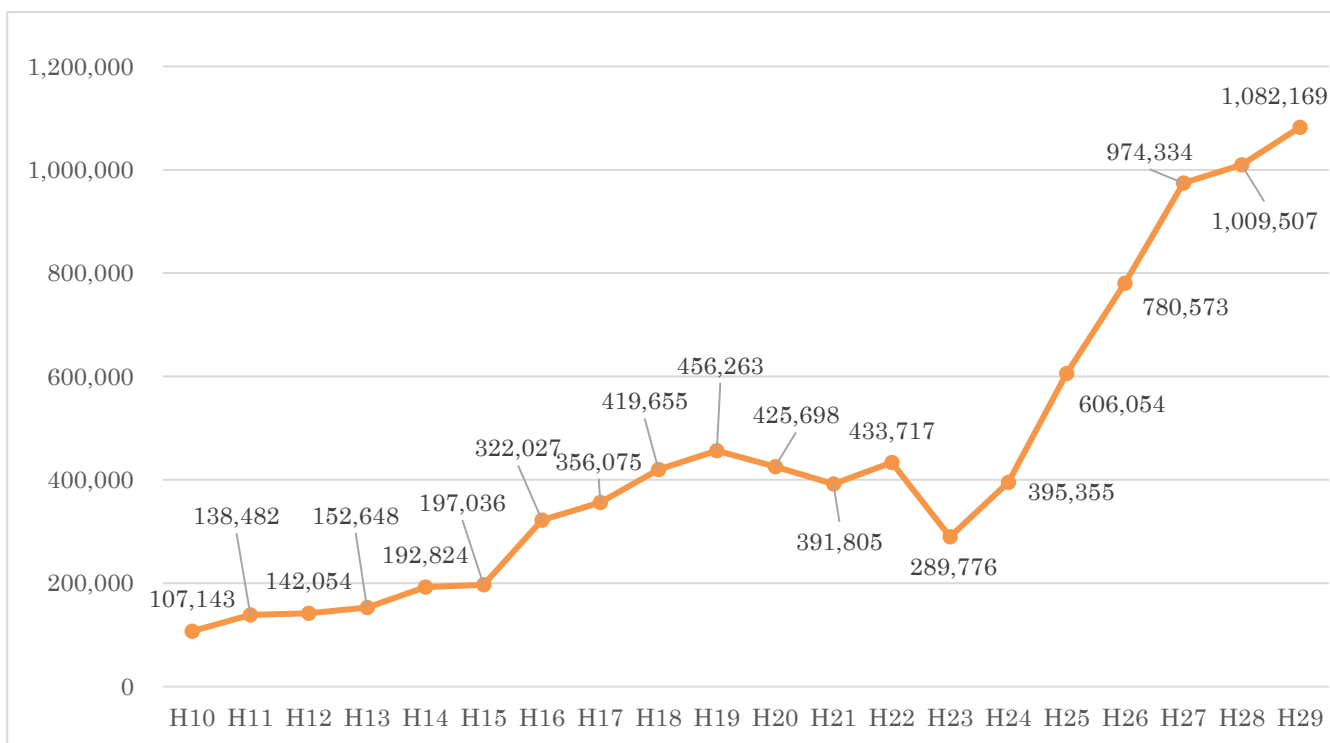
【参考1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳

（単位：人泊、%）

順位	国・地域	平成29年度宿泊者数（延べ数）		前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
1	台湾	325,169	30.0%	99.3%	▲2,349
2	中国	260,243	24.0%	112.0%	27,893
3	韓国	251,750	23.3%	130.7%	59,187
4	香港	80,400	7.4%	103.1%	2,440
5	マレーシア	33,035	3.1%	74.6%	▲11,250
	その他	131,572	12.2%	97.5%	▲3,259
	合計	1,082,169	100%	107.2%	72,662

【参考2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10年度～）

（単位：人泊）



【参考3】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）国・地域別の推移

（単位：人泊）

